

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

【術前療法①】ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌
キイトルーダ+毎週パクリタキセル+3週カルボプラチン5併用療法 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース:21日間 コース数:4回 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,8,15	—	
①	キイトルーダ:200mg/body 生食 100mL	mg	Day1	30分	
フラッシュ	キイトルーダ投与後にルートキープ用生食でフラッシュ				
プレメディ(内服)	セレスタミン NK1-R拮抗剤	1錠	Day1,8,15 Day1~	30分前	
プレメディ(点滴)	5-HT3R拮抗剤+テキサメタゾン+H2R拮抗剤+生食100mL			30分	
②	パクリタキセル:80mg/m² 生食 250mL	mg	Day1,8,15	1時間	
③	カルボプラチン:AUC(5) 5%ブドウ糖液 250mL	mg	Day1	1時間	

◆術前療法①を4コース施行後は、
 術前療法②として、乳癌-54(キイトルーダ+AC(ドキソリビシン+エンドキサン))又は乳癌-55(キイトルーダ+EC(エピルビシン+エンドキサン))
 及び術後薬物療法として、キイトルーダ単剤療法に移行する。

◆カルボプラチン投与量 = AUC(5) × (Ccr+25) Ccr算出: Cockcroft-Gault式
 CCrが125mL/minを超える場合は、125mL/minとして投与量を算出する。

佐賀大学医学部附属病院